

令和7年度 学校園評価シート

学校園名

加古川市立川西こども園

1 園教育・保育目標 「心豊かに、のびのびと素直に表現するこども」—遊びから学び、心と体ははずませ—

2 園指導目標 (1) 自分らしさを発揮し、素直に表現するこども (2) 友達を大切にし、思いを共有して遊ぶこども (3) 最後まで粘り強く取り組むこども

<点検結果評価基準> A:達成している B:まあまあ達成している C:あまり達成していない D:達成していない

I 経営の重点に関すること

重点目標	実践目標	評価項目	評価	○取り組み状況 ▲課題 ◎改善策
1 自分らしさを発揮し、素直に表現するこども	一人一人の特性や課題をとらえ、望ましい人間形成につながるようにつなげるように努める。	園児の表情、しぐさ、言葉などから内面理解し、園児が達成感・満足感が得られる適切な言葉がけや対応、環境構成はできたか。	B	○ 食物の栽培や収穫などの活動を通して、食への興味関心が高まっている。季節の草花や虫にも興味もてるような言葉掛けや環境構成を心掛けている。 ▲ 言葉にならないサインをもっと受け取れるようにしていきたい。 ◎ クラス全体だけでなく、園児一人一人の気持ちに寄り添うことを日々忘れずに接する。 ◎ 具体的な姿から環境を見直し、記録や個別の計画、指導計画などにも生かせるようにしていきたい。
		園児がのびのびと発達に応じた方法で表現できるように教材研究をしたか。	B	
		園児の表現しようとする意欲や態度を記録し、次の活動に生かすことができたか。	B	
2 友達を大切にし、思いを共有して遊ぶこども	友達と心を通わせながら、人間尊重を基礎にした温かいふれあいのある生活を送る。	園児が安心感をもって登園し、身近な人と親しみを持てるような援助を心がけたか。	A	○ 保育教諭が意図時に機会をつくることで、なかよしグループで園児の距離が縮まった。 ◎ 行事の時期だけでなく普段の遊びの部分でも交流ができるように計画し、継続してなかよしグループでの活動ができるようにする。 ◎ 自分自身に余裕をもつことを心掛け、一人一人の姿を意識して見たり、担任だけでなく他の職員とも連携を取りながら園児の姿を共通理解したりできるようにしていきたい。
		保育教諭や友達と一緒にいることや、活動することの楽しさを感じられるような関わりはできたか。	B	
		園児の心の読み取りを意識しながら保育をし、園児と園児の心をつなぐ援助を心がけたか。	B	
3 最後まで粘り強く取り組むこども	自分で目標を決め最後まで諦めずに取り組める援助と環境構成を整える。	遊びの中で、工夫したり協力したりできる環境や保育教諭の援助を意図的に考えて教育・保育を提供できたか。	B	○ 職員同士で園児がどのような遊びに興味があるのかを話し合ったり、体験させたいことを考えたりする時間をもつことが少しできた。 ◎ クラス担任同士、その他保育教諭ともアイデアを出し合いながら、チームで保育ができるように今後もしていきたい。 ▲ 行事に追われることがあるが、継続して遊べる時間、場の確保をもっとできるようにしていきたい。 ◎ 行事のねらいを見直し、園児一人一人の姿や発達を踏まえた援助、環境構成ができるようにしていきたい。
		一人一人の興味や発達を考慮した遊びを提供するための教材研究を心がけたか。	B	
		最後まで諦めずに取り組む意欲や態度をはぐくむための援助と環境構成を整えることができたか。	B	

II 施設の機能に関わること

分野	項目	評価	○取り組み状況 ▲課題 ◎改善策
教育及び保育の全体的な計画に関すること	園児理解とその対応	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育を振り返り、変更点や今後の計画について再度見直すことで、より具体的な指導計画の作成ができた。 ◎ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮して、指導計画を立て、保育に活かしていきたい。 ◎ 活動を進めることも大切だが、一人一人の思いも受け止めながら保育をしたり、加配の教諭の手も借りながら丁寧に思いを受け止められたりするようにしていきたい。
家庭との連携・協力に関すること	保護者との相互理解・対応等	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登園時の視診や保護者から体調等を聞き、日中は体調の変化に気を配りながら保育をしている。 ○ 早延長利用の園児の保護者と話す機会が少ないが、担任が会えた時には話ができるように心掛けている。また、ホワイトボードでクラスの様子を日々、伝えられるようにしている。 ▲ 懇談や普段の会話などで家庭での様子を聞くなどをしているが、園児一人一人の家庭での教育方針はすべて把握できていない。 ◎ より丁寧に伝えたり、見やすいクラスだよりをつくったりし、保護者との会話を大切にしていきたい。
地域との連携に関すること	地域・自然等の関わり	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園に来てくださっている方と継続的に関わっていることから、園児たちも自らコミュニケーションを取り、親しみをもっている。 ▲ 園外の地域の自然に触れるような散歩などを計画できていない。 ○ ウサギやカブトムシなどの生き物と関われる機会だけでなく、今年度は様々な栽培物を育て生長する過程を楽しむことができています。 ◎ 地域の方と直接関わる機会が少ない職員もいるため、その時の交流内容や目的、ねらいなどをもっと意識できるようにしていきたい。
小学校との連携に関すること	小学校との円滑な接続	C	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校校庭を使っでの運動会や5年生との交流などをする際には、園のねらいや考えを校長先生や担任の先生方と共に話し合うことができた。 ◎ 引継ぎや交流についての話し合いの場はあるが、交流の後にどのような変化があったか、交流によっての気付きなどをもっと共有する方がよかった。
安全対策に関すること	事故・災害・感染症対策	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園児の様子を毎朝視診し、体調の変化にすぐに気が付けるように関わっている。また、感染症への対応が必要な時には、看護師の指示のもと消毒をしたり、感染症対策を立てたりしながら生活をしている。 ○ 土曜日には、様々なクラスが混ざって活動するため、アレルギーや既往歴など、看護師が一覧にしたものを十分に確認している。 ◎ ヒヤリハットで、職員が気付いたことを職員会議などで共通理解しているが、日々の園生活の中で危険につながる環境がないかを察知できるように意欲を高めていきたい。

Ⅲ関係者評価

I 経営の重点に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しい中でも先生方が「言葉にならないサインをもっと受け止められるようにしていきたい。そのために…」と問題意識をもって取り組み、前向きな姿がよく見られる。自信をもって大丈夫である。 ・3歳児から5歳児の異年齢グループの取り組みも、家では経験できない、集団ならではの成長が見られると思う。 	A
II 施設の機能に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・行事に追われることもあるが、粘り強く遊べる場の確保や時間をつくっていききたいという思いが良い。先生方が話し合ったり、考えたりしていることを今後も続けてほしい。 ・リレー遊びの進め方を聞き、そんなところから子ども達と一緒に考えたり、試したりしていることを知った。子どもが思ったことを言葉で伝え合い、実際にやってみて、何度も考えて、またやっていることが分かった。 	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との円滑な接続では、効果が見えにくいのかもかもしれないが、回数を増やしたり、話し合いの場をもったりするなど、努力が見られる。小学校の校庭を使うことで、小学校に親しみをもつことができている。 	B